



河川問題及び河口閉塞等の状況調査報告



仲泊ヒューム管

質 大雨等の災害時には河口周辺の住宅が被害にあう。どこの河川が危ないのか、場所的なポイントを認識したシミュレーションや計画があるのか。

答 優先順位を決めたものはない。これからは必要であると感じている。8月に仲泊の集落も河口閉塞のために冠水した。優先順位に関しても今後計画を立てていきたい。

質 毎年、台風や大雨で河口閉塞の工事(土砂の除去等)を行っているが、今後閉塞しないような対策は検討しているか。

答 詰まりが全く無いというのは厳しい。砂が溜まりにくいような物を作らないといけない。石積を左右に作って、砂が中に入ってこないよう導流堤を考えている。



安富祖小学校体育館裏

【委員からの意見・要望】

- ① 現場を10ヶ所見てきたが、それぞれ状況が違う。冠水による災害なのか、水質環境による被害なのか色々問題点がある。シリン川のヒューム管の方式を使うと解決しそうな所もある。地域の方とヒヤリングをしながら、早くできるものはスピード感をもって対策してもらいたい。
- ② これまでの村内における河川の水質検査は、一律に生活排水に係る調査を行っており、これからは村全体の環境に合わせた、河口付近だけでなく河川の上流や中流等の検査方法を考えてほしい。
- ③ 数年前から問題が出ているが改善されていない河川がたくさんある。また、バイパス道路整備による道路排水の環境変化で冠水被害が増加している。中長期の事業計画書を作成し、優先順位を決めて関係機関への要請等、それに向けて努力するべきである。

記事担当 島袋 裕介

所管事務調査(経済建設民生委員会)

- 1. 実施日：平成30年12月18日から令和2年12月16日
- 2. 目的：村内の河川環境や水質検査・河口閉塞等の状況と近年続く大雨による冠水や氾濫などの状況調査
- 3. 方法：資料収集・関係者からの意見聴取・現場調査
- 4. 報告：現地調査を終えての質疑応答



垂川中流

質 現地踏査後の状況説明をお願いします。

答 山田区長と職員4名で垂川橋から降り、歩ける所まで行ってきた。岩盤が多く幅も広く高さもあるので氾濫はないとみている。琉球村の冠水はここが原因ではないと考える。

質 琉球村周辺について国道との協議はあったか。

答 国道との調整はまだ。現地踏査で行けなかった所も含め、水路に入って調査をした。冠水する所には道路排水路はあるが、山から来る水を受ける排水路が無いので対策を考えている。



琉球村排水路



谷茶集落

質 谷茶区の墓地公園は、以前から大雨のたびに冠水しているが改善策は考えているか。

答 冠水する大湊川近くの集落は標高が低く排水が機能していない。集水桝とポンプを設置し、水位が上がれば発動するポンプで河川に流せないか考えている。また国道から流れてくる水が多いので、今後要請をしていきたい。